

# fukashiro

presents

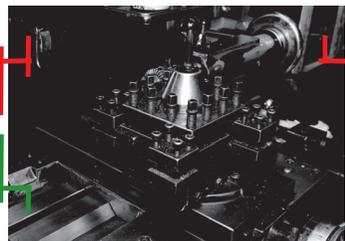
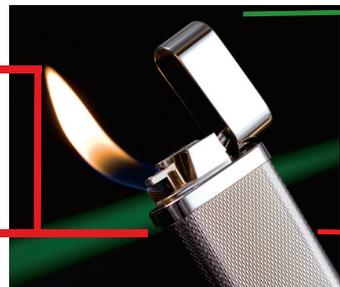
History of

# im corona

## Made in Japan

## もの作りにかける

## 思い



### 石光金属工業(株)

1933年(昭和8年)創立のライター製造メーカー。日本でのライター製造に最も古くから着手したメーカーとして1954年(昭和29年)には、JIS(日本工業規格)許可工場として初めて指定を受ける。日本の精密ライター製造のオリジンとして日本のみならず、海外でも高い評価を得る。前身である石黒製作所は、大正時代創立。2007年に㈱フカシロがim coronaの商標登録を譲り受け伝統の継承を担う。



### 対

### 談

### ㈱目黒製作所

1948年(昭和23年)創立のライター部品切削メーカー。ライター部品製造メーカーとして1962年にノズル注入弁の開発に成功後は、業界で確固たる地位を築く。社団法人日本喫煙具協会の依頼にてアドバイザーを務め、日本製ライター品質向上の為に貢献する。海外製造メーカーの技術的サポートをしている日本を代表するライターメーカー。石光金属工業より、技術の継承を受け「All Japan」を胸に日々、技術の進化を追求するクラフツマンシップメーカー。

「im corona」Lighter。80年以上前に日本で産声を上げたこのブランドに流れる職人魂を探る事を通し、今後の「Made in Japan」の未来を考える為に今回の対談が実現しました。

司会 今回、日本の「もの作り」、「Made in Japan」をキーワードにお話しをお伺いしたいと思います。日本のライター製造の先駆けである、石光金属工業㈱の社長であった、石黒様より、社に携わってからの事をお話し頂けますか。

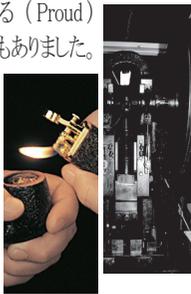
石黒社長 私は社の創立、昭和8年生まれなので、当時の事は父から聞いていた事しかお話しできませんが、先代(父)は、兄(叔父)の石黒製作所で修業後、今の東日暮里の地で昭和8年に石光金属工業所を創立しました。スタート時は「深しぼり」、所謂、真鍮材をメインとするプレス業、板金加工メーカーです。当初は今で言うラベルセットや白金カイロ等を製造していました。当時、貿易会社の金丸商店が海外のライターを輸入したのを機に、ライター製造の依頼がありました。輸入品からは大いに学び製造に生かしたようです。ポウライター(キャップと胴の真中にオイルタンクのあるタイプ)、ワンハンドライター(ダンヒルユニークタイプ)、スキーライター(サイド部分が可動式で押し込み動作でフリントが回転し着火するタイプ)等を製造していました。本当に海外の製品の事は勉強しましたよ。

深代会長 金丸商店は貿易会社でしたね。そうですか、金丸商店の依頼で製造を始めたのですか。ワンハンド、懐かしいなあ。

石黒社長 その後、戦争で工場も地方(山梨)に移転しました。私は山形に疎開しましたが、戦後に先代が町屋で工場を再開させ、分散していた工場を統一したのです。coronaの名前は戦前から使っていましたが石黒製作所、石光金属工業、大杉製作所の三社で「コロナ商会」といって販売会社を設立して「im corona」は生まれたのです。

深代会長 im coronaのネーミングの由来もよろしいですか。  
石黒社長 頭文字の石(i)と光(m)もあるのですが、「i」の点は太陽(corona)を「m」は工場をイメージして、工場の上に「コロナ」が輝く会社という想いが込められています。また、昭和29年にJISの認定を受けた4社の内の1社ですから、それに恥じない誇りある(Proud)確かな製品を製造するという想いもありました。なんだか、この様な話ばかりして良いのですかね。ただの昔話になっていませんか？

深代会長 問題ありません。貴重なオリジンの話が聞ける事は、フカシロにとって重要な事ですから、im coronaを支持してくれるお客様にも是非伝えて



石黒社長

いきたいです。そうですか、嬉しいですね。では当時の話を。戦後直ぐは米軍の兵士に使ってもらう為のライター製造で、Zippo型やアドニスタイプが良く売れましたね。ライターボディにエッチングした板やメタルを貼ったり、彫刻を施したり色々なものを作りました。売れびび。ロンソングスタンダードの様なダブルケースのタイプも販売していましたね。当時のマーケットプライスは350円位でしたが、1,000円で漆の外装加工等もして販売していました。当時としては、少し高価過ぎましたかね。マーケットプライスの3倍のプライスは高いね。売れないよ(笑)

深代会長

石黒社長 そのうち、フランスでガスライターが誕生して、国内からガスライター製造を依頼されました。様々な関連メーカーと協力して取組みました。海外の製品は精巧にできていたなあ。その後、電子ライター製造依頼があり、また皆で協力して日々学びながら取組みました。電子ライターは日本発祥という事でメーカーとして非常にやりがいのある企画でした。それ以降、グッドデザイン賞等も頂き、海外の取引拠点も増えていきました。忙しく働かせて頂きましたが私も歳を取り、工場をたたむ決心をした時に、深代さんにim coronaを継承して下さいとおっしゃって頂き嬉しかったです。

司会

目黒社長 続いてim coronaの製造を担い、技術継承された目黒製作所のお話しをお願いします。弊社は元々「引き屋」(金属切削加工業)です。創業時からライター部品の製造を行ってききましたが、13年程前かな、日本喫煙具協会の依頼で品質向上のお手伝いをさせて頂いて

石黒社長

います。その頃から石黒氏とは面識がありましたが、もの作りに対する姿勢に非常に共感を持っていました。私が言うのもおこがましいですが、非常にクラフトマンシップ溢れる製品作りをしていましたから。

石黒社長

実はね、目黒さんの先代、先々代の頃だったかな、仕事の依頼でお伺いした事もあったのですが、目黒製作所も職人気質の会社ですからね。折り合いがつかずに断られていたのですよ。しかし、目黒社長に事業の継承をお願いすると、第一声で「もったいない!」と言って、「是非やらせてもらいたい!」とまでおっしゃってくれた。その言葉に非常に心打たれました。目黒さんに頼んで良かったと思いました。元々は、深代会長が最初に事業の継承を快く引き受けて下さってから始まったお話しでしたが、本当にお二人にはim coronaを引き継いで頂き感謝しています。

目黒社長

私は「im corona」はこれからのブランド、これからの時代にこそ必要とされるライターだと思っていましたから、「この素晴らしい技術を消滅させるわけにはいかない!」と強い使命感を感じました。もちろん責任感、重圧もありますし、品質を保つ為に勉強しましたよ。石光さんの技術者の方々も招きました。皆、必死でしたよ。石光金属工業は海外有名ブランドやライターメーカーにご依頼してきた製作所です。大変な技術力を持っていたのです。その名に恥じないもの作りを追求しなければなりません。重圧も凄い。(笑)フカシロもim coronaのクオリティを絶対に落とさぬように目黒製作所と協力していますよ。海外でも支持



目黒社長 してくれるお客様も多いし、期待を裏切るわけにはいかない。弊社は「All Japan」をモットーに製造に取り組んでいるのです。日本は分業制で質の高いもの作りをしています。職人魂の結晶です。海外もあまり変わらないかもしれないが、同業者（メッキ加工業、プレス業）も一緒に継続、繁栄していかなければいけないと思います。欧米の技術の良い工場は無くなってきているし、フランスのブランドも技術を勉強してくるが、やはり日本でなければ作れないですね。細かな仕上げ等は、そう考えると人も含めて総合的に



技術を引き継いでいかなければいけないんです。技術に関心のある若者も育てていかなければいけないし、まだまだ楽しみがあるので、休んでいる暇がないんですよ。（笑）

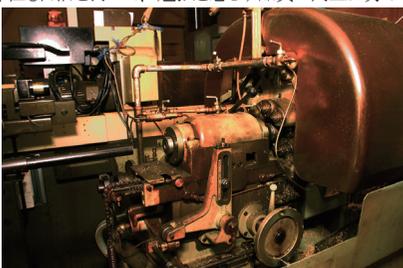
## 「Made in Japan」 「良いもの」

深代会長 私は今、「Made in Japan」はブランドだと思っているのですよ。日本人の繊細な感性、真面目なもの作りへの姿勢、それが素晴らしいプロダクトを様々な分野で生み出している。「Made in Japan」は間違いなく「良いもの」です。その事をお客様に確かに伝えていく事が弊社の使命です。

目黒社長 簡単なことではないが、絶対にやっていた方がいいものではない。私はね、「商売はもうからないモノ」と思っています。突き詰めてね、その位の気持ちでもの作りをしています。日々勉強です。しかし、アフター問題は毎いがある。毎日怯えながら、もの作りに励んでいます。少しでも故障を減らしたい。お客様に満足してもらいたいから。ユーザーをがっかりさせるわけにはいかないですからね。

深代会長 その点は、我々もしっかりサポートしていかなければいけない。これだけの拘り、世界的な品質を追求して、真面目に製造している事を前提に販売していかななくてはならない。その事もあり、3年という異例の保証も付けているのだし。

目黒社長 弊社も自信を持って、勉強を怠らず品質の向上に努めている



るつもりです。色々なメーカー、職人の手から手を渡って、目黒に届き、我々は責任を持って、熟練の職人のすり合わせ技術を駆使して組み上げる。それぞれの部品の精度が高いから、組んでいて「ピタリ」とくる。素晴らしいですよ！感動しますね！この職人の方々の技術をね、残していきたいんですよ。これからの日本の若い人に伝えたいです。日本人同士なら継承できるはずだと思うんですよ、私は。海外では、最近になってまた、日本製のライターが必要だという声が上がってきています。

目黒社長

深代会長 海外ではやはり、パイプヤンガーを嗜む層が圧倒的に日本よりも厚いからなあ。その人達に認められる良い製品を届けていきたい。これからは日本でも品質の良いものを求める人達が納得するよう、



目黒社長

私はやはり、突き詰めて、良い品質の長く使ってもらえる製品を作りたいです。そうすると、儲からないけど。やはり商売は儲からないものだな……（一同爆笑）

目黒社長

電子ライターも今の部品に私は満足していない。1000個中のやはり数個は初期不良も起こる。日々勉強ですよ。進化していきたいし。電子部品メーカーの方と一緒に頑張って開発していきたいです。



深代会長

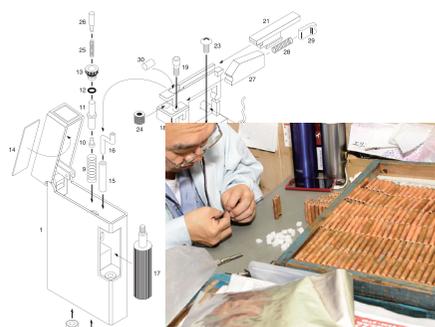
我々フカシロも日々勉強して、進化していかなければならない。誇りある日本製品の為に。

目黒社長

例えばフリントライターの部品は100個以上あるんです。でも製造工程は600工程以上あるんですよ。その全てに完璧を追求しなければならぬ。勉強が必要なんです。

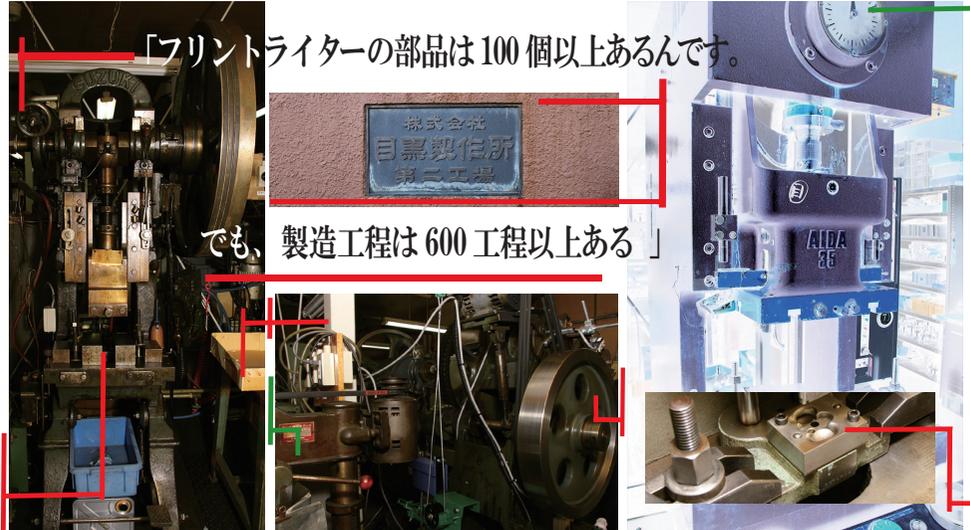
目黒社長

600工程以上に100以上のパーツですか。正に精密機械、メカなんです。フリントライターは、それを我々も再認識する必要がありますね。これからは、興味を持って頂けたお客様にその点もしっかりと説明していきたいです。



目黒社長

私は技術も含めて、オープンで良いと思っています。海外にも技術を広められるなら広めたい。そして、世界的にもの作りの精度が上がれば良いと考えています。切磋琢磨して良いものを作りたいんです。手を抜いたら、やはり、ものに現れてくるからね。製品の品質は確実に落ちるんです。600工程といっても、図面にのらない工程もたくさんあるんです。最終的には、全部、人の手で確認するんですよ。無駄と思っても絶対にやる。手は抜けないですね。「Made in Japan」の名に恥じないように、これからも頑張ります。昔、海外のお客様に親子3代で使うことのできるライターを作れと言われたことがあります。これからは長く愛される良い



「フリントライターの部品は100個以上あるんです。」

でも、製造工程は600工程以上ある」

ライターを作って下さい。今でも私たち石光が昔に製作した製品を何十年も使い続けて下さるお客様に出会う事ができます。嬉しいですね。同じ感動を得られるように、これからも頑張ってください。

日本の真面目な職人達が、誇りをもって作り上げている「im corona」Lighter。全ては、手にしたあなたの満足の為に。手の中に納まる「Made in Japan」の精密機械を所有してみませんか。きっと、長くあなたの良き相棒になってくれるはずです。



**OLD BOY/オールドボーイ**  
サイズ: 65.5×30×12mm / 重量: 81g / ガス容量: 3.3g / 材質: 真鍮



■11035009 [64-5009] GP/NAT BRIR ¥18,000  
■1103911B [64-9111] BLACK MATT ¥10,000



**Laurell/ローレル**  
サイズ: 71×30×11mm / 重量: 85g / ガス容量: 3.3g / 材質: 真鍮

■11031303 [66-3211] ENGINE-TURNED BARLEY ¥22,000

